

2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 ソーシャルワイヤー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 矢田 峰之  
 (コード番号: 3929 東証グロース)  
 問 合 せ 先 管 理 部 長 笹川 友幸  
 (TEL. 03-5363-4872)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2026 年 5 月 15 日付「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました 2027 年 3 月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 通期連結業績予想について

|                            | 売上高          | 営業利益       | 経常利益       | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|----------------------------|--------------|------------|------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                 | 百万円<br>4,412 | 百万円<br>425 | 百万円<br>401 | 百万円<br>327              | 円 銭<br>27.93    |
| 今回修正予想 (B)                 | 4,350        | 326        | 281        | 254                     | 21.69           |
| 増減額 (B-A)                  | △62          | △99        | △120       | △73                     |                 |
| 増減率 (%)                    | △1.4         | △23.3      | △29.9      | △22.3                   |                 |
| (参考) 前期実績<br>(2026 年 3 月期) | 3,513        | 227        | 205        | 221                     | 18.95           |

#### 2. 業績予想の修正理由

2027 年 3 月期の上半期におきましては、主力事業において一部大型案件の予算縮小および失注が重なり、売上高が期初計画を下回って推移いたしました。これに加え、株式会社 SEIRYO の株式取得に伴う仲介手数料や、人員配置の適正化に伴う事業構造改革費用といった一過性の費用が発生したことから、上半期の売上高および各段階利益は期初計画を下回る結果となりました。

下半期につきましては、2026 年 6 月に連結子会社化した株式会社 SEIRYO (TikTok を中心としたショート動画領域における広告運用支援事業および成果報酬型 SNS 広告事業) の寄与により、売上高は期初計画水準で推移する見込みであります。一方で、事業ポートフォリオの変化に伴い売上構成が変動し、売上総利益率が期初想定を下回る見通しとなったことから、下半期の利益計画を保守的に見直しております。また、既に公表しております東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更申請に係る審査

費用等を下半期の計画に反映しております。

以上の結果、2027 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見通しとなったことから、上記のとおり修正いたします。なお、前期実績との比較では、売上高は 23.8%、営業利益は 43.5%の増加を見込んでおり、増収増益の成長基調に変わりはありません。

2026 年 10 月に公表いたしました連結子会社株式会社アットクリッピングによるセキュリティサービスにつきましては、サービス提供を開始した直後であり、現時点で業績に与える影響を合理的に見積もることが困難であることから、本修正予想には織り込んでおりません。今後、同サービスの進捗等により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

また、2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の決算につきましては、2026 年 11 月 10 日に公表を予定しております。

（注）上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上